

# SNS利用のトラブル事例



～ 情報モラル教育に御活用ください！ ★印は“ターニングポイント”です。～

## 事例① 詐欺被害

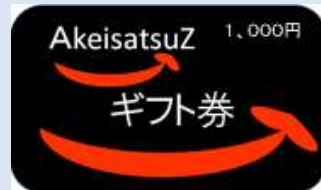
中学生のA君は、ツイッターで欲しいゲーム機(定価30,000円)が10,000円で販売するというメッセージを見つけ購入を希望する連絡を入れた。相手からはギフト券にて事前送金するよう指示されたことから、コンビニエンスストアで「アマゾンギフトカード」を10,000円分購入し信用して支払った。【★】

購入日から1週間で届くものでしたが、ゲーム機は届かない。相手のアカウントが削除され、一切連絡がとれない。

不安に思い警察に相談し、アマゾンカスタマーサービスセンターに連絡しカード停止要請をした。

幸い、早期対応によって金銭の払い戻しができた。

(同じような事件が複数あり)



## 事例② ゲームに夢中になり高額課金

小学生のB君は、お母さんのスマホを借りてオンラインゲームをダウンロードしゲームを楽しんでいた。アイテムが欲しいときはお母さんに相談し、パスワードをお母さんに入力してもらって購入していた。その後、B君は、お母さんに相談や承諾得ることなく勝手にお母さんのIDとパスワードを入力し無断で有料アイテムの購入を続けた。【★】

ある月、10万円以上の請求書が届いた。

基本プレーは無料でも、有料アイテムがあった方が有利だから課金したい……パスワードの管理は保護者にあります。



## 事例③ 悩み相談から…誘拐された

中学生のCさんは、SNSで知り合った男とラインで悩み事を相談するなど仲良くなった。「一度会おう！」と誘われ男と会うことになった。【★】  
待ち合わせ場所に行くと、男の人に無理やり車に乗せられて自宅に連れ込まれた。

ネット上で知り合った人に実際に会う事案が増加しています。ネット上では自分のプロフィールを偽り(うそをつく)あなたを信用させ近づき悪いことをしようとする人がいると考えましょう。



### ◇ 警察からのお願いです ◇

☆ネット犯罪被害に遭った子供の約92%[警察庁平成29年度調査]がフィルタリングを設定していません！フィルタリングをしましょう。

☆SNS利用をめぐるトラブルは増えています。

注意点は、

個人情報 は、「書かない」、「教えない」、「画像、映像に注意する！」

自画撮りは、「撮らない」、「撮らせない」、「渡さない」

です。

困った時は、ネット上の知り合いではなく、家族、学校、警察に相談することを指導してください。



# SNS利用のトラブル事例



～ 情報モラル教育に御活用ください！

事例① ネットの長時間利用の悪影響 スマホの過度な使用による日常生活への支障……

「友人とのトークが連日深夜まで続き」

無料通話アプリで友人と会話するのが大好きなAさんは終わらせるタイミングがわからず、夜遅くまでスマホを使いついつい寝るのが遅くなってしまった。それが原因で「遅刻」や授業中に「居眠り」をするようになってしまった。睡眠時間が足りないと学校生活にも影響が及んでしまいます。ネットの長時間利用は常にネットのことが気になってしまうなど精神的ストレスを抱えてしまうことにもなりかねません。



『考えてみよう』

友人関係が何より大切な時期ですが、生活習慣の乱れや睡眠不足は、健康や学習などいろいろな影響がでています。適切な利用のためにできる工夫はありませんか？

①睡眠の大切さを知る

体の成長だけでなく、体調を整えたり、疲労回復をしてくれる「成長ホルモン」。睡眠との関係を調べてみると何かに気付くことがあります。

②ルールを作る

トークを終わらせるのが難しいというのは、多くの子供の悩み。終わりの言葉を決める、1日の利用時間、就寝時は電源OFFにするなどルールをつくりコントロールしましょう。

③時間の使い方を見直してみる

宿題、食事、入浴 etc…帰宅後はやることだらけ習い事や塾もバラバラで遅い時間しか揃わない。だったらその日は早く寝て、翌日「早起きトーク」をするというのはどうでしょう。



事例② 誤解を与えやすいネットコミュニケーション 無料通話アプリなど……

「うっかり‘?’を付け忘れたために」

クラスの仲良し数人でやっているグループトーク。Bさんは、『〇〇ちゃんの話ってさ面白くない』と書き込んだまま、スマホを置いてお風呂に入ってしまった。

お風呂上りにスマホを見ると、「ひどい！」などの書き込みがあり、その後、誤解されたと思い送信するも反応がなくBさん以外のメンバーは別のグループを作り、Bさんは仲間からはざされたのです。

面白くないは ①面白いと思うけど、どう思う ②面白くないよね と正反対の意味に勘違いされてしまう場合があるよ！

『考えてみよう』

会話の流れが速いために、ちょっとしたことで誤解や感情の行き違いが生じやすいグループトーク。いじめやトラブルが起きないために、できることはありませんか？

①文字だけの会話だから

‘?’と‘!’では意味が真逆になることもある文字の会話。正しく伝えることが大切です。

②早くて複雑な会話だから

グループトークはテンポが速く、複数の会話が並列して飛び交います。流れをつかむのは至難の業。

③ムカッ！イラッ！としたら

どんな会話でも、嫌な気持ちになることはあります。そんなときは感情をすぐにぶつせず、一呼吸して考えて。文字だとケンカになりそうなら、電話で話してみるのも良い方法です。

※ 困った時は、ネット上の知り合いではなく、家族、学校、警察に相談する。